

3月



園だより

希望が丘保育園 28-0331

生活の合い言葉

- 【後始末】
使った後 使う前より
きれいに美しくゴミはなし
- 【友情】
いやなこと 陰口でなく
言ってあげるのが 友情

日ごとに寒さも和らぎ、春の陽気を感じられる頃となりました。進学進級まであと1か月。春を心待ちにしている子どもたち。1つお兄さんお姉さんになる喜びを、それぞれに感じているようです。

さて、この一年も玄関で皆さんを出迎える中で、季節の風や虫や鳥の声、空の色など、季節の移ろいとともて玄関をくぐる子ども達の様子にも成長を感じる日々でした。少しご紹介します。

春の頃はお母さんにぎゅっと抱きついて登園していたお友だちがすっかり自分で歩いて来て、笑顔でポンとタッチをしてくれます。自分で頑張って着て、ボタンをはめた制服で登園してくれます。先生を見つけると、にっこり笑って「おはようございます」の挨拶をしてくれるお友だちが増えました。涙の出たお友だちが靴を履き替えるのを待って一緒にお部屋に行ってくれるお友だちがいます。道端で見つけたきれいな花やすてきな形の石のことを嬉しそうに教えてくれるお友だちがいます。

一つ一つは小さなことかもしれませんが、子ども達の心の成長は細かなところにも感じられるものです。子ども達の成長に触れると、嬉しくて心が温かくなります。

今年度最後の月も、お友達と先生と楽しい思い出でいっぱいになるよう過ごしていきたいと思ひます。



保育目標

“もうすぐ一年生、もうすぐ進級”

身についたものをしっかりと確認し
それをさらに高め、確かなものにする。

心の目標

ち え き ぼう
智慧 希望

いつも胸に希望を持ち、明るい生活を
目指し、社会の為に努めましょう。

保健だより

春、大人は花粉症に悩まされますが、子どもも0歳から花粉症を発症することがあるそうです。子どもは自分で症状をうまく伝えることができないため大人の観察が重要になります。こんな症状がみられたら早めに小児科や耳鼻科を受診してみましょう。

【子どもの花粉症の特徴】

- ①目の症状が出やすい。目をこするため充血する。
まぶたが腫れる。
- ②鼻づまりが起りやすい。鼻の穴が小さいため。
寝ているときいびきをかく。
- ③鼻水がドロツとしていいる。
- ④鼻で呼吸ができないため、口をポカンと開けていることが多い。

3月もインフルエンザやコロナ等の感染症の心配がまだ続きます。引き続きお子さんやご家族の皆様体調管理に、ご協力よろしくお願ひいたします。



3月の行事予定



- 8日(金) 誕生会
- 11日(月) 防災訓練・非常食を食べてみよう
- 19日(火) ばら組さよならバイキング
- 20日(水) 春分の日/休園
- 21日(木) 諸経費口座振替日
- 22日(金) お道具箱、午睡布団持ち帰り
- 25日(月) 卒園式、ばら組お別れ会
※さくら組以下=11:30 降園
午後から申込保育 ~4/4(火)まで
- 27日(水) 物品販売(13:00~18:30 まで)

令和6年度4月

- 1日(月)~4日(木) 申込保育期間
- 5日(金) 入園式(午前)/11:30 降園
申込保育/19:00 まで
- 8日(月) 給食開始
バス運行開始



防災訓練・非常食を食べてみよう(11日)

能登半島地震から2か月あまり、そして東日本大震災から13年となる 3.11 に、防災訓練を行い、地震などの災害で電気やガスが止まったときに食べる【非常食】をみんなで食べてみます。

お道具箱等の持ち帰りについて

お道具箱は、3月22日(金)に全園児持ち帰りますので、当日は風呂敷、または袋を持たせてください。
なお、午睡布団を持ち帰り、クリーニング又は乾燥をお願いします。

新年度使用物品の販売について

3月27日(水)の13時から18時30分までの間に、物品を販売いたします。代金と引き換えに受け取りの上、それぞれに記名して、4月1日~5日までに持参してください。

新年度の入園式について

令和6年度の入園式を4月5日(金)に開催いたします。幼児クラスが参加して、新入園児さんの入園をお祝ひしたいと思います。

ばら組さよならバイキング(19日)

卒園するばら組さんとお別れパーティーを開き、思い出のバイキング昼食会にしたいと思ひます。当日はばら組さんの大好きな給食のリクエストメニューになりますよ。お楽しみに



◆申込保育について◆

新年度の準備のため、3/25(月)午後~4/4(火)の期間を申込保育とさせていただきます。出来る限りで結構です。ご協力をお願いします。

申込保育期間

- ◎3月25日(月)午後~4月4日(木)
保育時間 月~金曜日 19:00 まで
土曜日 18:45 まで
- ◎申込保育中はバス運行・給食はありません。

園からのお願い

手つなぎは子どもの命綱

ショッピングモールやファミリーレストランの駐車場で、子どもが突然走り出して「あぶない!」と思ひたこと、家や保育園から子どもが道に飛び出して「止まって!」と叫んだこと、誰でも経験のあることではないでしょうか。興味を引くものがあれば、あるいは何もなくても、子どもは突然予測できない行動をするものです。

「ダメ!」「止まって!」と言ったけど、もう遅い…。そんなことにならないためにも、お子さんの手はしっかりと握ってください。特に、車や自転車が通る場所に出るとき、車や自転車と同じ場所を歩くときは、「絶対、手つなぎ!」です。車が歩行者に注意するのはあたりまえですが、小さい子どもに運転者が気付かないこともあります。単純に、前を見ていないこともあります。大変な事故が起きてしまったら、「なぜ、車が!」と言っても手遅れなのです。

「外に出たら、必ず大人と手をつなぐ」、お子さんが歩き始めたら、これを約束にしてください。危ない場所で子どもが手を離そう、ふりほどこうしたら、「しっかり手をつないでいて。約束でしょ。」一貫した習慣づくりが子どもの命を守ります。

手つなぎは、子どもを守る命綱。そして、子どもにとっても大人にとっても「命の温かさ」を感じられる。一番簡単な、一番大事な方法なのです。

※参考:掛札逸美「命を守る子どもの事故予防」
〔「赤ちゃんとママ」1・2・3歳〕2013年春号より〕